

平成25年度「県民参加による水と緑の森づくり事業」

資料2-1

当初計画額
3億7,513万円

富山県森づくりプラン（後期計画：H24～28年度）の概要

○里山林や混交林整備、森づくりの参加人数の新たな目標を設定

【里山林や混交林の整備面積】

区分	前期実績 H19-23	後期計画		全体 H19-28
		H24-28	H25 計画	
里山林 整備 （新規地区数）	1,296 <156>	1,304 <155>	260 <34>	2,600 <311>
混交林 整備	693	807	165	1,500

・里山林:前期5年間と同様に整備推進
・混交林:過密林、風雪被害林657haに、新たに、竹林の侵入した人工林150haを整備対象に追加

【森づくりの年間参加延べ人数】

年度	H19 実績	H23 実績	H24 見込み	H28 計画
参加人数	6,920	10,775	11,000	12,000
サポート センター 登録団体	43団体 (2,903人) 11企業	83団体 (3,205人) 45企業	88団体 (3,377人) 46企業	

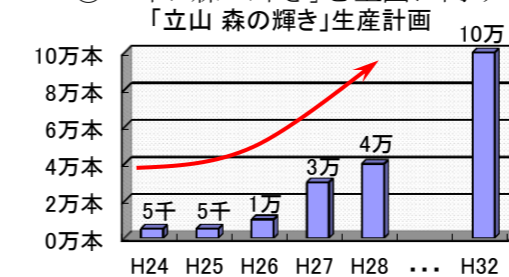
・現行の参加人数10,000人の定着を図るとともに、潜在的な参加意欲のある新たな参加者2,000人の増加を目標に設定

○後期計画の新たな取組み

【優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及】

「立山 森の輝き」植樹の集い (H24.11.10、立山町座主坊地内)
「立山 森の輝き」記念植樹 (H25.2.21、東京都・日比谷公園)

花粉症対策の一つとして、本県で開発した優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及を目指す。
①スギ花粉飛散に強い影響を及ぼしている人工林での「立山 森の輝き」の植栽を支援
②「立山 森の輝き」を全国に向けて広く普及・拡大するため、苗木の大量生産体制を整備



・採採用ハウスの増設等によりH32年度までに10万本の生産を目指す。
・さらに並行して、挿し木による大量生産を目指す。(H40年度頃 30万本程度)



「立山 森の輝き」記念植樹 in 日比谷公園

【カシノナガキクイムシによる被害跡地の復旧】

奥山のカシノナガキクイムシによる被害跡地において、ミズナラなど実のなる木を植栽し、森林の公益的機能やクマなどの野生動物の餌場の確保を推進

多様な森づくりの推進

□ 里山再生整備事業費

【1億2,740万円】

県民協働による里山の再生整備(229ha,27箇所)、里山地区への支援の充実
カシノナガキクイムシ等の森林病虫害などによる枯損木を除去
里山林の継続的な管理・利用を推進するため、里山地区のリーダーを養成



地域住民による里山林の整備

□ みどりの森再生事業費

【1億5,458万円】

風雪被害林や竹林が侵入した人工林などを整備し、混交林に誘導(154ha)



侵入竹林の整備

□ 実のなる木の植栽事業費

【840万円】

カシノナガキクイムシの被害を受けた奥山を対象に実のなる木を植栽(13.6ha,13,600本)



「立山 森の輝き」の植栽

□ 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」普及推進事業費

【1,164万円】

優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の植栽(2.5ha,5千本)を支援
優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の苗木の種子による大量生産

とやまの森を支える人づくりなどの推進

□ とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業費

【2,986万円】

森林ボランティア活動を専門的・総合的に支援
森づくり活動機器(ヘルメット(1,180個)、ノコギリ(505丁)など)の貸出等



サポートセンターによる森づくり用機器の貸出し

森づくり塾に森林資源の有効活用方法を学ぶ「循環型森づくり研修」を追加

□ とやまの森づくり普及啓発推進事業費

【580万円】

出前講座「森の寺子屋」の開催(100回)
フォレストリーダーの指導力向上のため座学研修に加え実技実習を実施



森の寺子屋の開催

□ 県民による森づくり提案事業費

【800万円】

県民が企画、実践する事業提案を募集し活動を支援

□ 県産材利用促進事業費

【2,200万円】

県産材を利用した木造公共施設の新築を支援
公共施設の内装木質化や木製品の導入等を支援
木育推進のための遊具・積木の保育園等への導入を支援(15施設、50基)



木育推進のための県産材遊具

森づくりの計画・評価

□ 水と緑の森づくり推進事業費

【295万円】

水と緑の森づくり会議(4/25)の開催及び「県民参加の森づくりフェア」(5/24)の開催



県民参加の森づくりフェア

滑川市柳原 「滑川市スポーツ・健康の森」